

別添資料

表1 本書 第5章 第2節の見出し

第5章 地理の内容と学習指導	第2節 地理の学習指導計画	1. 地誌学習の指導計画	(1)教授資料における地誌学習の指導計画
			資料1 小単元「ヨーロッパ」の指導計画
			(2)より具体化された地誌学習の指導計画
			資料2 小単元「多文化社会をめざすオーストラリア」の指導計画
		2. 系統地理学習の指導計画	(1)教授資料における系統地理学習の指導計画
			資料3 小単元「集落の形態と都市」の指導計画
			(2)より具体化された系統地理学習の指導計画
			資料4 小単元「工業立地と工業地域の形成」の指導計画
		3. テーマ地理学習の指導計画	(1)教授資料におけるテーマ地理学習の指導計画
			資料5 小単元「世界の人口問題」の指導計画
			(2)より具体化されたテーマ的地理学習の指導計画
			資料6 小単元「国のなかのウチとソト」の指導計画

(本書より発表者作成)

表2 本書 第6章 第2節の見出し

第6章 日本史の内容と学習指導	第2節 日本史の学習指導計画	1. 学習指導計画の作成	(1)単元観とは
			(2)単元観の書き方
			(3)「本時の指導過程」の作り方
			(4)学習指導案の作成例
			指導略案, 指導細案 日本史 A 「明治維新と近代国家の作成」
		2. 今後の課題－「異文化としての過去」と歴史学習－	

(本書より発表者作成)

表3 本書 第7章 第2節の見出し

第7章 世界史の内容と学習指導	第2節 世界史の学習指導計画	1. 「事象伝達型」の学習指導計画	(1)指導計画の実際
			略案 「近代以前の東西交渉」
			(2)指導計画の特色
	2. 「解釈追求型」の学習指導計画		(1)指導計画の実際
			略案 「イギリス紅茶文化の成立と17・18世紀の世界」
			(2)指導計画の特色
	3. 「理論探求型」の学習指導計画		(1)指導計画の実際
			指導細案 「7・8世紀の東アジアと日本」
			(2)指導計画の特色

(本書より発表者作成)

表4 本書を教科書・参考書とする講義のシラバスまとめ

大学名	授業者	学習目標	講義内容の分類 (指導要領：分析：構想：実践)	分類備考
札幌大学	吉嶺茂樹	教育方法と技術の習得（目標，内容，指導方法について指導要領から探究，指導案を作成し模擬授業）。	1：6：1：6	「総括」を除く，14回。指導要領と分析，構想と実践に強い関係性あり。
専修大学	増田純一	知識・技能などの育成を図り，実践的な能力を身につける。	7：7：5：6	「ガイダンス」，「現代の教育問題を考える」を除く，25回。
西九州大学	松尾正幸	基本的知識の理解，諸問題にアプローチする力量の形成，指導案の作成力，社会諸科学の方法論の習得。	0：14：0：0	「オリエンテーション」を除く14回。中学校社会科を含む。
広島大学	草原和博	授業を分析，開発，評価する知識と能力の育成。	0：13：2：0	全15回。
福岡教育大学	小田泰司	教材研究力，特質を理解した上での授業構想力。	0：11：3：0	「まとめ」を除く，14回。
三重大学	永田成文	授業構想の視点の獲得。	0：12：0：0	「レポート」を除く，12回。

(シラバスより発表者作成)